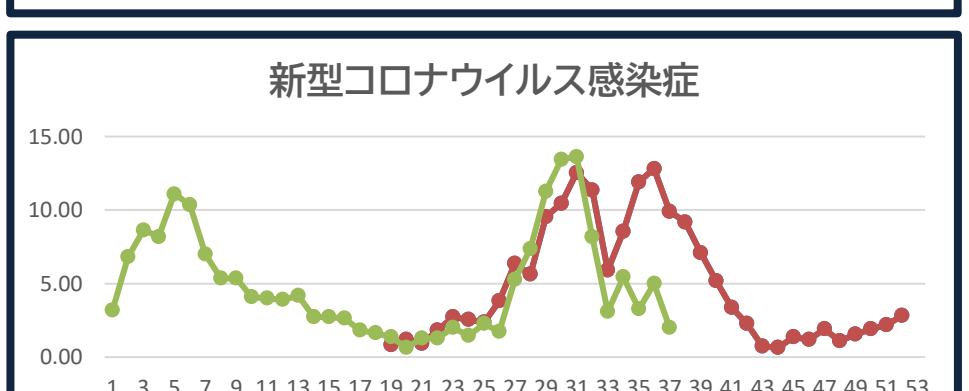
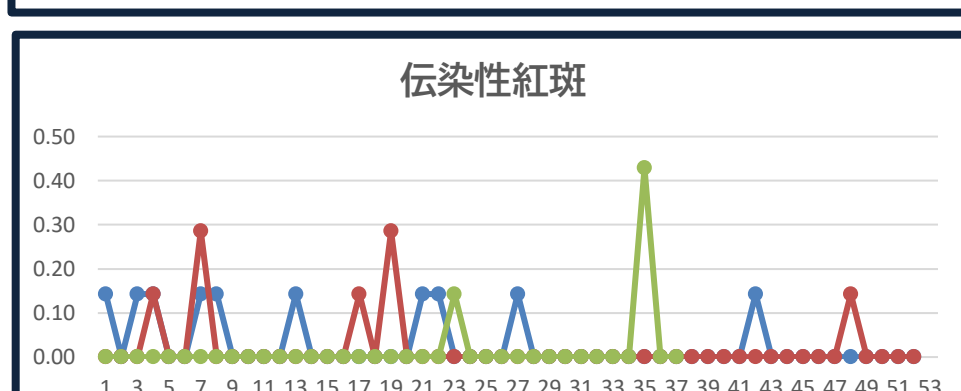
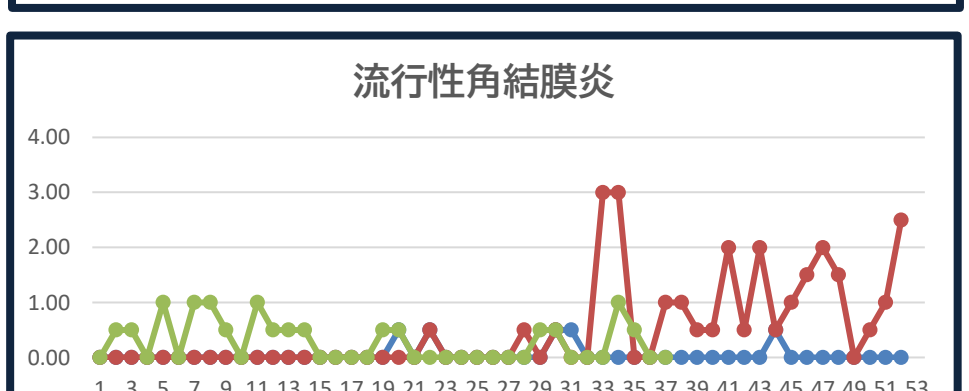
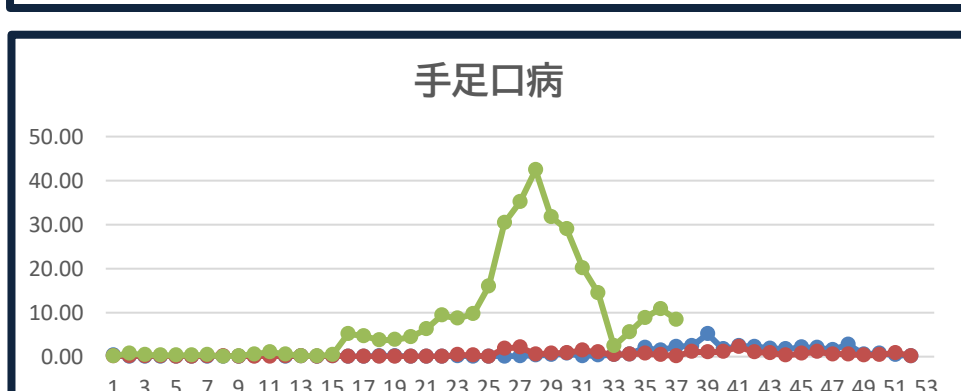
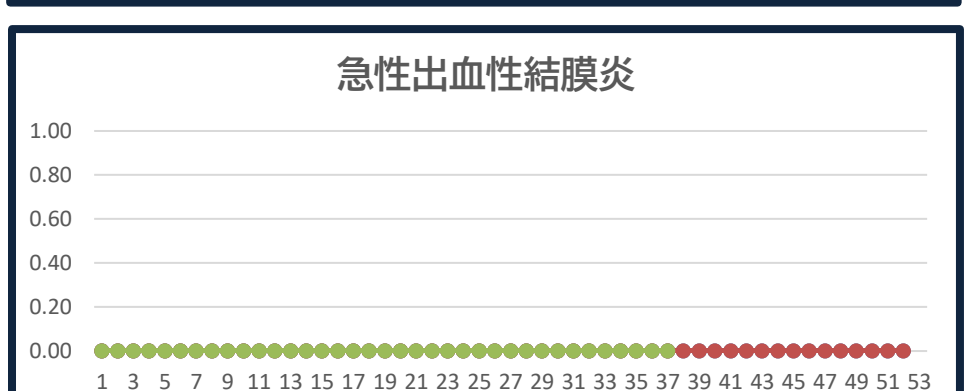
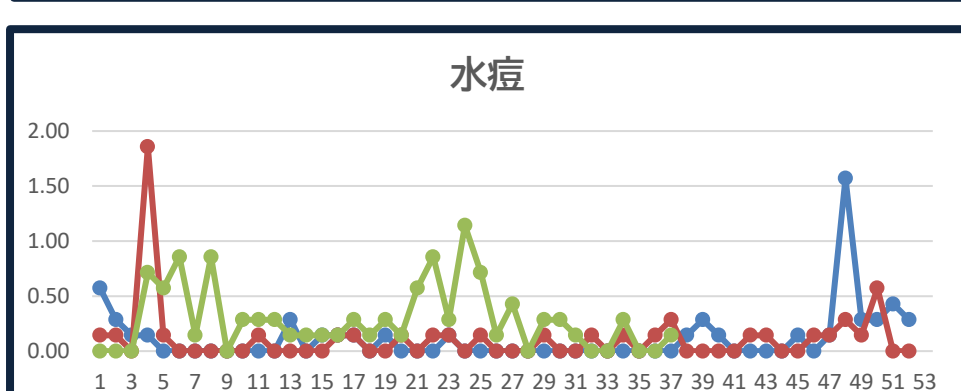
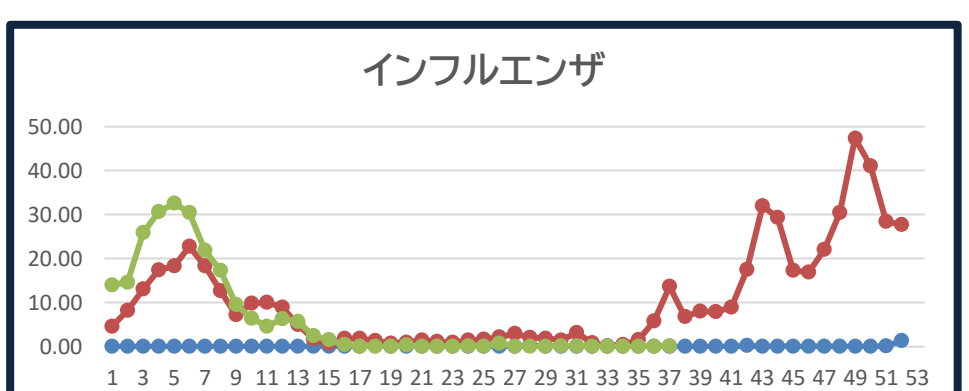
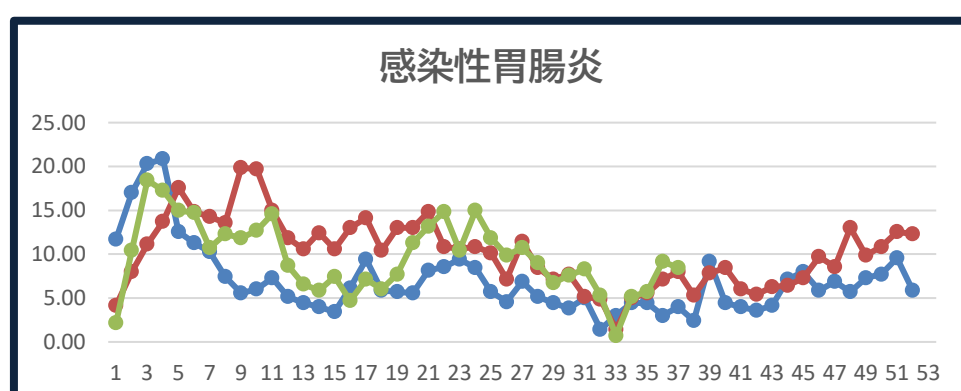
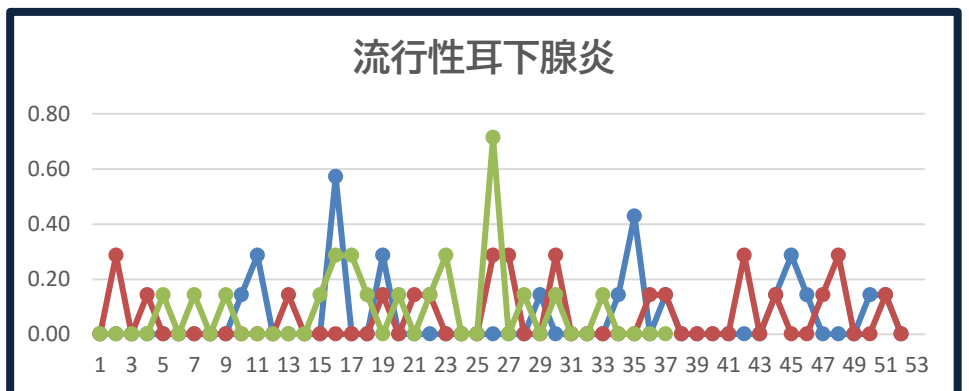
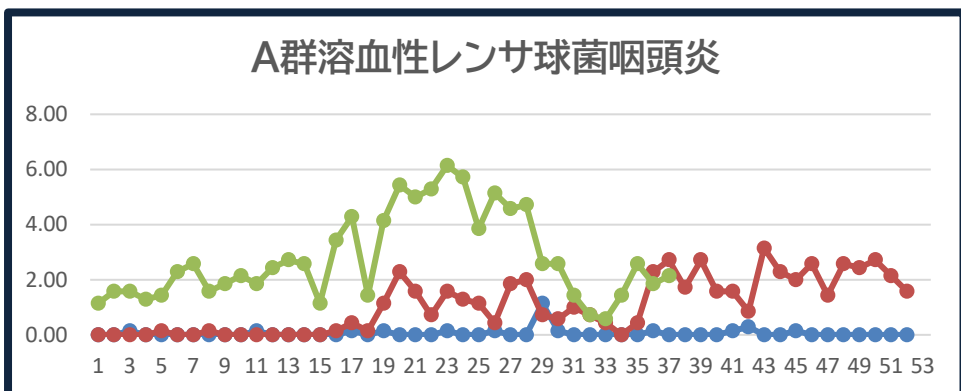
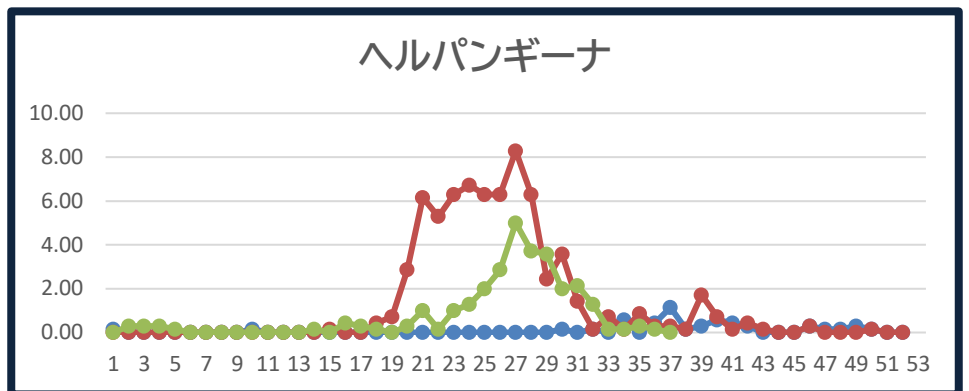
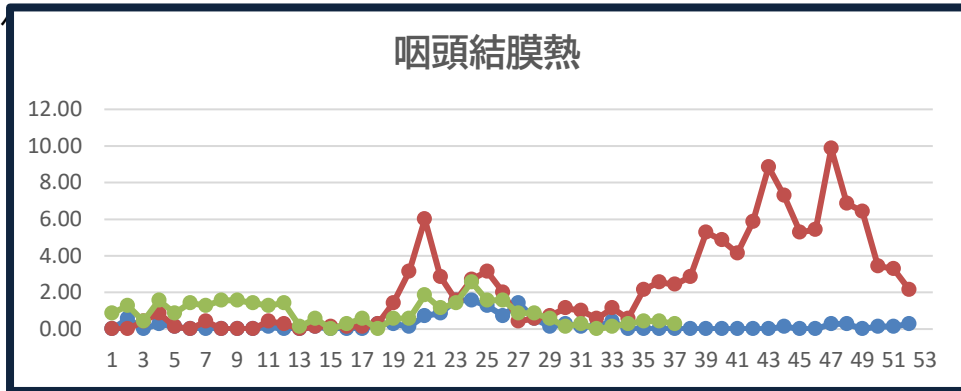
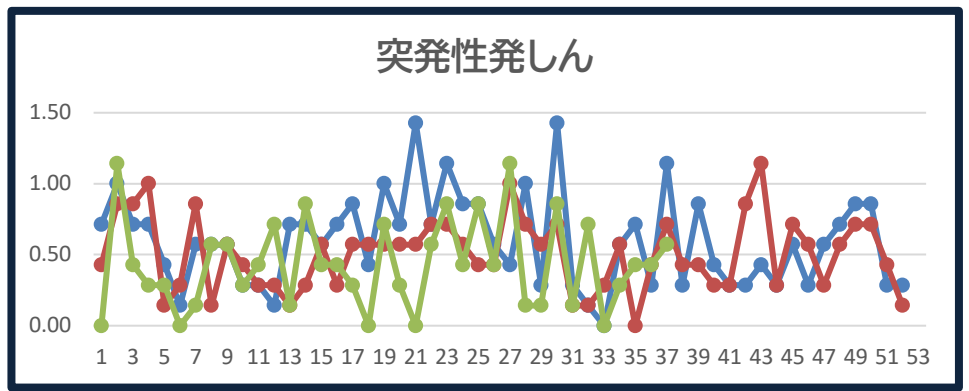
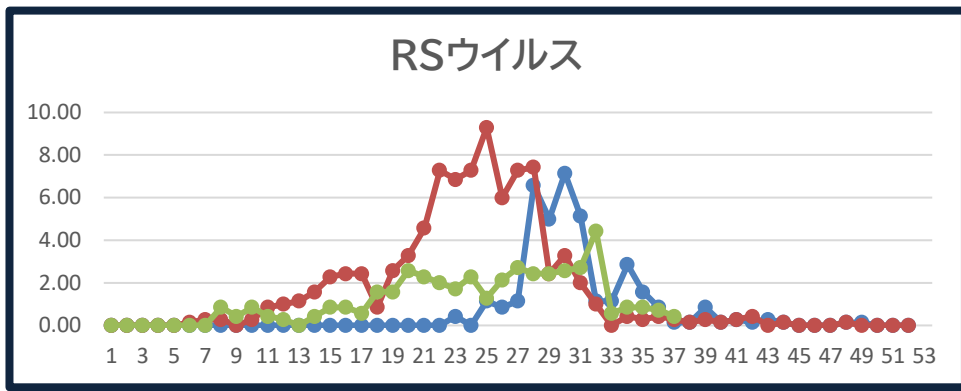


定点把握対象感染症発生状況(グラフ/過去3年間)

● 2022 ● 2023 ● 2024



まだまだ
要警戒!!

手足口病が流行中

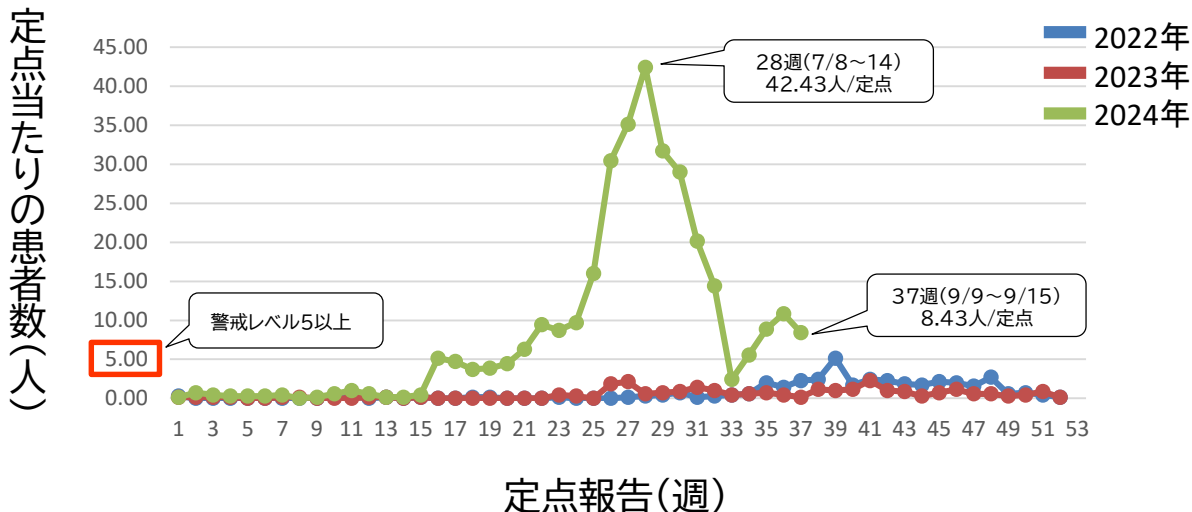


定点医療機関あたりの患者数が、2024年21週から警戒レベルとなり、28週をピークに減少してきていますが、37週現在も警戒レベルを超えています。

約90%を5歳以下が占めています。

乳幼児が集団生活をしている「**保育施設**」や「**幼稚園**」などでは感染対策を心掛けましょう。

定点当たりの手足口病患者報告数



1 どうやってうつるの？

・ウイルスを含んだ**便・唾液・目やに・咳のしぶき**などを介して、人から人に感染します。

2 感染を防ぐポイントは？

① 手洗いをしっかりする

- ・治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されます
- ・トイレの後、おむつ交換後、食事の前は、せっけんと流水で**20~30秒**かけて手洗いをしましょう
- ・タオルの**共有**を避けましょう

② 排泄物を適切に処理する

- ・おむつ交換は、**手袋**を着用し、おむつは**2重のビニール袋**に入れて捨てましょう

③ 環境消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使う

- ・アルコール消毒では原因になるエンテロウイルスに対して効果が弱いです

④ 咳エチケットを心掛ける

- ・咳やくしゃみをする時は、口と鼻をティッシュ等で覆いましょう